急報

※会社は林、岩山、下田三氏に四日解雇通告を一方的に出した。

※大牟田警察は任意出頭した田尻さんをそのまま拘留し、三日午後五時久留米に護送した。

明るいうたごえを望む
合理化反対に賛同
九州のうたごえ熊本で開く

去る九月二十六、二十七の両日、第七回「九州のうたごえ」大会が熊本市で開かれた。三鉱労組から各支部十名の代表者をはじめ、自由参加者十二名を含めて計七二名が参加した。まず二十六日の前夜祭は午後六時より十時まで熊本市公会堂で催され、創作発表、合唱発表会が開かれた。三鉱労組のコーラスは大牟田地域のコーラスと合同で「どんとこい」（荒木栄氏・作詞作曲）を発表し、好評を得た。前夜祭終了後は、宿舎での友山（山野・田川及び杵島）との同志たちとの交流を行い、「歌声活動の実態や、歌声活動への取組み方」等について、活発な討議を行うとともに今次闘争についての各山の状態等をお互いに話しあつた。

大きな発展を期せ

交流会では活発な意見が交された大要は、

現在のうたごえの活動は行き詰つた所に来ているのではないかこうした「うたごえ大会」といつた大きな集りになると、各地域からの参加者も多いが、その参加した人たちが、今度現場、もしくは地域に帰つてからの活動は薄れぎみになつているような気がするが……。

といつた意見や、

こういつた「うたごえ大会」は毎年々々大きく広がり、大きな発展の道を一歩一歩前進していると思う。

という意見が二つに分れたが、そのなかで色々と討論しあつたが、結局つぎのような結論に達した。

現在の「うたごえ活動」を、もつと、大きく発展させるためにただ「うたごえ大会」にのみとどまらず、その歌声から……というもう一歩進んだ大きな観点に立つて諸々の問題に取組むべきだろう。

合理化反対を叫ぶ

二十七日の大会は、熊本体育館で六千余名の参加者が集つて、午前十時より開催された。

第一部「つぶやきをささやきを声にしよう」で開幕し、第四部「沖縄を取りもどし、安保条約を破棄しよう」の統一プロで終幕を飾るまで、三時間余、会場は若人の情熱でわきたつた。炭労は「去るも地獄・残るも地獄」の横断幕を携えて出演し、「炭鉱夫行進曲」を力強く合唱し「首切りをハネ返し生活と権利を守るために、あくまでも闘い抜こう」とアピールを行い全参加者の賛同を得た。今年は企業合理化に反対し、安保条約の破棄を中心に企画が組まれていたが、その成果は十分満たされ、大成功だつた。そして最後に「合理化をハネ返し、平和のうた声を職場のすみずみまで広げよう」と高らかに宣言された。

九州のうたごえ前夜祭

大牟田地区のうたごえ

交流は有意義だ

なお、今年の九州のうた声に参加された組合員の感想をとりまとめると大要次のようである。

前夜祭では

なまず田一坑サークルの仲間の歌つた「廃山の跡」は後に出された「ヤマの娘」「炭鉱の子」等と同じ様な感じの曲で、哀愁のただよつたもので、消極的な方向をさしている様な気がした。即ち、同情と哀みを引くようなわれわれ自身がその情に溺れるようになるのではなかろうかという感じだつた。

それに比べて鹿児島の仲間が発表した「しらずばたけ」はよかつた。明るく伸び伸びとした感じの民謡調、苦しい生活の中でも明るい未来を見出す農民の感情だろう。「廃山の跡」と比べ職業のちがい、地域の差というだけで片づける問題ではなかろう。

また、われわれの出演は出演前のゴタゴタはいつものことながらあまり感心しなかつた。

交流会では

○三鉱各支部ともおのおの今後の構想をのべたが、交流会かぎりのものにならぬ様にということを決めた。それと同時に、執行部の発言は多すぎる、もつと発言の時も、皆を考えて発言をしてもらいたいという要望があつた。

○山野との交流会は有意義だつた山野の地域的組織は三池でも今後の問題となろう。

○山野では唯一人の看護婦さんしか参加していないとこだつたが山野の環境がわかる様な気がした。

○交流会は九炭労で計画して欲しかつた。

○田川、山野、三池、三山の交流が欲しかつた。

本祭典では

○会場の運営は非常によかつたが昼休みのとりかたがまづかつた

○以前のように、涙の訴えがなかつたことはよかつた。

○大牟田地域の出演は失敗だつた以上をひつくるめていえば、演出なく歌つた方がよかつたのではなかつたろうかと思つた。

四方八方こぼれ話

シラヌ顔の半兵衛

廿九日早朝、大牟田警察は、組合本部および三川、港務、本所を急襲し、家宅捜索を行つた。急を聞いてかけつけた本部役員を警察官がピケを張つて事務所内に入れない。

「オイツ、俺の事務所に入るのになぜ入れぬ」

とかけ合えば、

「どなたもだめです」

「何ばいうか、新聞記者も入れとるじやつか」

大声でどなればシラヌ顔の半兵衛

法律は警察官のためにあるのか。

警官隊とは

機関紙通信社から出た出版物の用語辞典に、

警官隊とは……政府のロボット部隊で、ゴボウ抜き、ぶん殴り踏み散らしなどの戦術を得意とする。

と書いてある。

これを読んだ政治局のSさんが、

大牟田警察署とは……片耳のオオカミで、会社のかけ声だけが耳に入り、キバをとぎ襲いかかる

はどうですか。

犯人は会社幹部

ニコヨン殺すにゃ、刃物はいらぬ、雨の三日も降ればよいという歌がある。これは直接手を下さぬでも、雨が降れば日雇いの人達は、その日の食事にも事欠き餓え死にすることをいつている。

三井鉱山では、三日どころか一カ月も賃金を払つていない。これは当然、人殺し行為だ。そのヒレツなジワジワと真綿で首をしめるような行為を、人の生命を守らねばならない警察が目かくししていて、一方的な証言だけを信用して暴力行為だと大がかりな手入れをする意図は、明らかに行きすぎだ会社も法違反として尋問、検束し労働組合に事情を聴くことが民主警察ではないか。

頭を疑う

警察や新聞は、三川支部の田尻さんが逃亡しているといつて、さかんに悪人にしたてようとしているが、当の田尻さんは、二十九日の警察への抗議もデモの先頭に参加し中央委員会にも出席し、現場でも情宣活動を行つている。全く一方的に罪人に仕立てるのが警察のやり方だと、みんながいつている。

とくに任意出頭を求めて、そのままパクルとは全く、風上におけぬ仕業で、警察を信用できぬ。二十万市民の協力がなければ、警察職務が十分できないことを知らぬ警察幹部の頭が疑われる。

大牟田警察幹部に抗議する

遊戯（ゆうぎ）
—三池労組を想定の弾圧によせて—

中村一徹

黄金の手に統率された猿たちが
新品の
幾台ものジープ　幾台ものトラックに
満載されてやつてきたところは
九月の太陽の輝く海岸の一郭
猿たちのパチンコ競技場であつた
条件反射の訓練を黄金の手によつて
受けていた猿たちは
早くもそれを実戦に応用したかつた
「実戦に先だつて屋外訓練を行う！」俺の訓練の効果をしるために」
理論のまじる室内訓練に倦んでいた

猿たち
黄金の手のこの言葉を聞くと
嬉々としてここに運ばれてきた
パチンコ場におりがめぐらされ
正門の門柱に人間の首がつるされた
おりを境にして
人間に化けた猿たちと
警官に化けた猿たちが
へいげいしあつた
黄金の手がサツとおりると
警官猿たちは一齊に突進した
煙幕が充満し　おりがはがれた
誘致と呼応の声につづいて
怒号　ばり　悲鳴　ほうこうが
錯そうした

サドとマゾツホの渦より
醸成する至上の快楽に
じやれあう猿たち
臭い唾液　腐つた汗をまき散らして
それらが飽和状態に達したとき
黄金の手があがり
訓練——遊戯は終つた
重傷の猿は一匹もいなかつた
はからずも同じ毛皮　同じ体臭が
猿たちの凶暴性を阻んだので
ぎ装を解いた猿たちは一齊に黄金の手に懇請した
「ムードは味えますが実感がわきません、早く実戦を」
「この次は実戦だ！」黄金の手は満足にふやけた声でいつた
猿たちは一齊に歓声をあげた
「俺タチニハ武器ガアル
素手デハコタエヌコノ鉄かぶと

腹ヲツブセルコノ半長靴
腕ヲヘシオリ　首モネジ切レル
コノ警棒
トツテオキノコノ拳銃
壊滅セヨ　人間タチヲ」
不協和音の合唱を響かせ
砂塵を巻いて猿たちは去つた
正午を過ぎたばかりの海岸に
オゾンのない大気が停滞し
興奮したはずみに漏らした猿たちの
尿や唾液の散らばる
砂れきの上に
人間たちの
そがれた鼻　折られた腕　ひしやげた首
えぐられた臓ふ……の幻影が
うごめいていた
その上を
色彩を奪われた太陽が
おお　逆に動いていた
〈太陽を元に戻せ！〉

警察の不当介入反対決議
荒尾市議会多数で可決

荒尾市議会最終日の十月二日、われわれの代表である革新議員団より「労働運動に対する警察の不当介入反対決議」や「ILO批准促進決議」等を緊急動議として提出した。

先づ坂本敏雄議員より労働運動に対する警察の不当介入と不当逮捕について約三十分に亘る提案理由の説明を行い自民党と対決した。

坂本議員は八月十二日の三川支部や港務支部で行われた労働組合の大衆行動は経営者の賃金遅払いや期末手当ゼロ回答、さらには二、二一〇名の不当首切りに対し理由の説明を求めたのであり、憲法二十八条の保障に基く正当な行為であつた。それを警察は経営者が出した一方的な資料と要請により暴力行為として組合員八名を逮捕したことは明らかに労働運動に対する警察権力の介入であり、弾圧であると主張、これに対し自民党の福田文蔵、鴻江勇両議員と中政クラブ（保守系）の安田三郎議員等が反対演説に立ち「労働組合が行き過ぎだ」「会社は赤字だ」「市議会が労使双方の紛争にまき込まれるから反対だ」と資本家の番犬ぶりを発揮した。

これに対抗して革新議員団より藤木幸博議員と豆塚正士議員が賛成演説に立ち保守対革新のはげしい対決となつた。

起立採決の結果、起立多数により次の通り協議文が原案通り決議された。勿論反対は自民党と中政クラブであつた。

要請

去る八月十二日、三鉱労組三川支部及び港務支部において行われました労働組合の大衆行動は経営者の賃金遅払いや期末手当のゼロ回答、さらには二、二一〇名の首切りに対し理由の説明を求めたのであり、憲法第二十八条の保障に基く正当な行為であります。

それを組合員の心境は求めず経営者の要望により、去る二十九日早朝暴力行為として一方的に八名の組合員を逮捕されたことは、まことに遺憾であります。

このことは明らかに労働運動への警察権力の介入であると判断を致します。

よつて今後かかる一方[illegible]なきよう市民のための[illegible]て慎重なる行動をとら[illegible]要望すると同時に今回[illegible]た八名の組合員を早急[illegible]られるよう市議会の協[illegible]要請致します。

荒尾市[illegible]

大牟田警察署長
福岡県警本部長　殿

要望

去る九月二十九日早朝[illegible]警察署を中心に福岡県[illegible]鉱山経営者の要請に基[illegible]側の意見を無視して一[illegible]合員八名を逮捕されま[illegible]につきましては、本市[illegible]ではまことに遺憾に思[illegible]ります。

今後貴署におかれまし[illegible]る一方的不祥事が起ら[illegible]慎重なる行動をとられ[illegible]議会の決議により要望[illegible]であります。

荒尾市[illegible]

熊本県警本部長
荒尾市警察署長　殿

教委に大橋氏（四山）

なお、ILO批准促進に[illegible]議案については、田中豊[illegible]り提出し、政府はすみや[illegible]条約を批准すべきであ[illegible]決議をこれまた多数決に[illegible]決した。

最後に荒尾市教育委員の[illegible]ついて討論があつたが、[illegible]推薦の大橋清一氏（四山[illegible]自民党の反対を押し切つ[illegible]育委員として確認任命さ[illegible]

折リヅルで激励

すでにご存知の方もある[illegible]さいきん、港務支部図書[illegible]ば、パツと目をひくもの[illegible]それは闘病用のテーブル[illegible]ラ下つている折り鶴だ。[illegible]は会社の企業合理化をは[illegible]「失業者を出すな」「安[illegible]許すな」という闘争意欲[illegible]合員が余暇を利用して折[illegible]

この折り鶴には、青で[illegible]定絶対反対」、赤で「[illegible]対反対」と書かれてあ[illegible]に来て頭上を見上げる[illegible]後までガンバリましよ[illegible]この折り鶴が呼びかけ[illegible]うだ。とは一組合員の[illegible]

ネルギー源はいつも不安にさらされることになり、誠に危険な政策となるからであります。

とくに日本は輸入する重油の大部分がアメリカ系の資本であるため遠く大平洋をこえて輸入されているのであります。

各国はその経済の不安定をなくするために国内産業、とくに石炭産業には重点をおいていると考えられます。

これが日本経済の正常な姿といえましようか、ひとたび外国市場の退潮を見れば、一番の被害をこうむるのはこの種業者であることは明白ですが、又日本の経済も大きく動ヨウし国民を苦しめる結果にもなります。

諸外国との比較

しかしその場合、業者はこの打撃を労働者の首切りに求めることは、今までの常トウ手段でありま

そこで私どもは強く政策の変更を要求していますが、かんじんの石炭経営者は労働者の首切りのみを考え先に習いたごとく、諸外国の進んだ政策には一片の動きも示していないのであります。

このことは現在の日本における労働運動の中で、もつと強いといわれる炭労の巨大な力を恐れ、先ず炭労の弱体化をネラつて、あえて首切りを強行し、資本家側の優

不当弾圧に抗

に集まつた者は約百名で炭労地方議会議員の全国大会の感があつた三池からの出席は、浦川、酒井両県議、遊尾、福川市議代表。

第一日は原委員長挨拶のあと議長団をえらび、各地方報告からはじまつた。北海道、福島、常盤、山口、福岡、佐賀、長崎、熊本の順で報告が行なわれたが、その主な内容は炭労本部から指示された「石炭不況に関する決議」の可決を

こは一どこでもそうだと思うが、福岡の中小鉱で倒産した所では、娘の身売りがおこつている。炭鉱

関係官庁に陳情

二日目は三班に別れて労働、通産各大臣、自治庁長官、衆参両院正副議長、社会、自民両党政審会長政調会長などに、それぞれ陳情を行なつた。この陳情には阿具根、

者の生活を救うだけでなく、失業反対などの積極的な運動もすすめる。ぜひ協力をたのむ」とのべた

多賀谷、大矢、阿部などの議員が先導した。

陳情に対する政府及び自民党の答えは、競合エネルギー上、本格的な対策をたてなければならない。

とということと[illegible]労を仮想敵[illegible]福岡県警に[illegible]察庁にいつ[illegible]この抗議には[illegible]などの国会議[illegible]代表、三池な[illegible]抗議に対す[illegible]局長）の釈明[illegible]敵としたので[illegible]ピケ隊と警察官と衝突したとき、[illegible]自治体の活動など決めて[illegible]